

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<43週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・水痘 - 定点当たり報告数が4週連続で増加しており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<感染性胃腸炎> 今シーズンの感染性胃腸炎は第39週より患者報告数が徐々に増加し始め、第43週の報告総数は8,651  
<腸管出血性大腸菌感染症> 発生状況グラフ



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎 / Vero毒素産生性大腸菌



速報  
P.6

2001/02シーズン直前におけるB型インフルエンザウイルスの分離例 - 名古屋市



海外感染症情報  
P.7

米国の炭疽 - 更新



感染症の話  
P.8-10

髄膜炎菌性髄膜炎  
化膿性髄膜炎のなかで髄膜炎菌を起炎菌とする疾患で、日本においては1960年代前半からはその症例数が激減しており近年では極めて稀な疾患となっている



読者のコーナー  
P.11



グラフ総覧(43週)  
P.12-18



43週のデータ  
P.19-26



# 発生動向総覧

第43週コメント 11月2日集計分

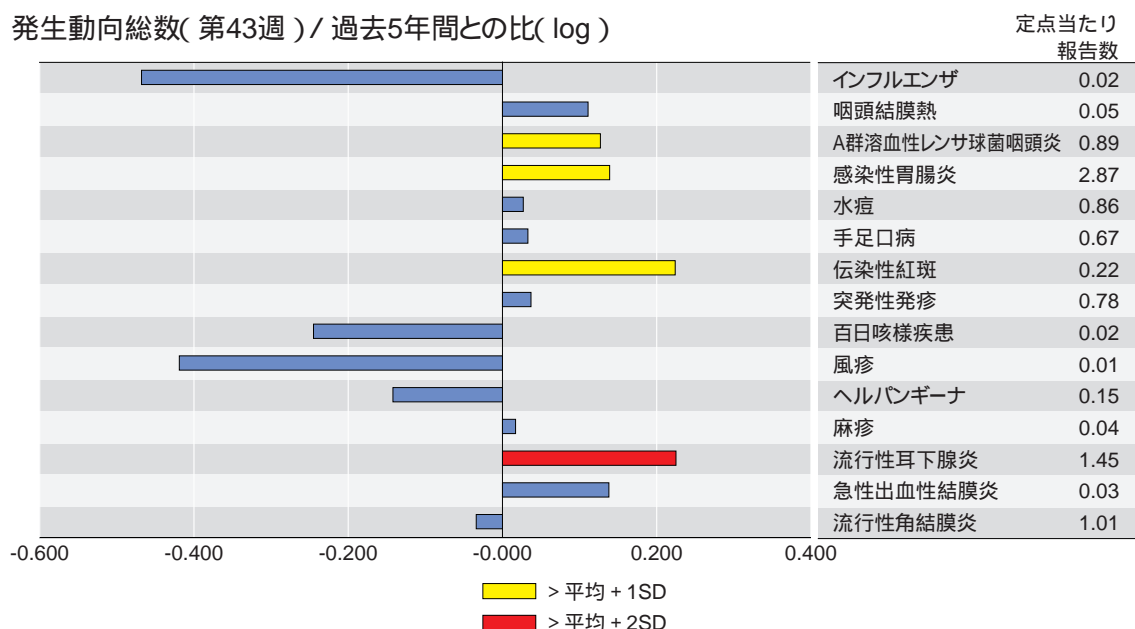
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢4例( 推定感染地: 国内3例、フィリピン1例 )、腸チフス1例( 推定感染地: インドネシア )、パラチフス1例( 推定感染地: インド )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症37例( 腸管出血性大腸菌感染症の発生数の推移については、4ページ「注目すべき感染症」を参照 )
- 4類感染症: アメーバ赤痢5例、Q熱1例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例( ともに孤発性 )、ツツガムシ病10例( うち静岡県3例、大分県2例 )、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例( vanC型 )、レジオネラ症3例
  - 急性ウイルス性肝炎10例
    - A型6例
    - B型3例\_感染経路: 性的接触1例、不明2例
    - C型1例
  - 後天性免疫不全症候群11例( AIDS 2例、無症候性キャリア9例 )
    - 感染経路: 性的接触9例( 同性間7例、異性間2例 )
    - 不明2例
  - 梅毒6例( 早期顕症4例、無症候1例、先天梅毒1例 )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎および感染性胃腸炎の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比べやや多くなっており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される。感染性胃腸炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、鳥取県( 6.8 )、福井県( 6.6 )、愛媛県( 5.8 )、宮崎県( 5.6 )、三重県( 5.5 )などである( 感染性胃腸炎の詳細な情報については4ページ「注目すべき感染症」を参照 )。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県( 4.9 )、沖縄県( 4.3 )、富山県( 4.2 )などである。

発生動向総数( 第43週 ) / 過去5年間との比( log )

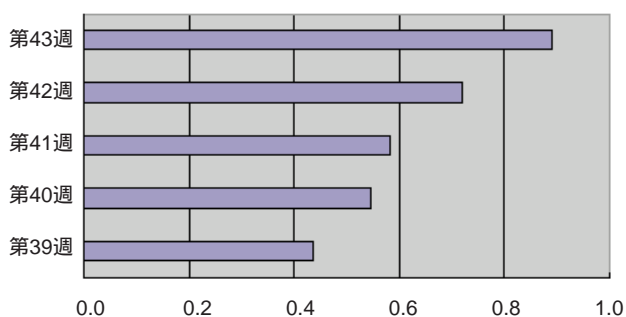


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

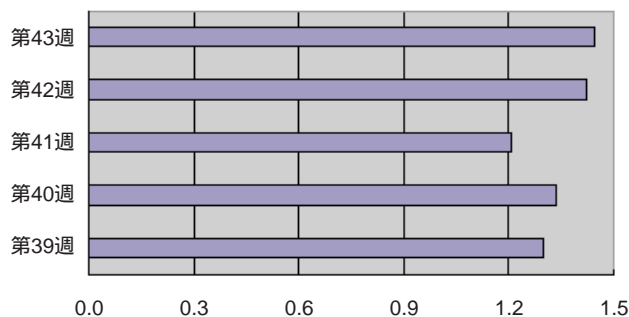
## 最近の注目疾患－5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数は4週連続で増加しており、今後年末のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より微増した。基幹病院定点からの報告疾患であるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は前週より減少したが、昨年、一昨年に比べると定点当たり報告数の多い状態が続いている。

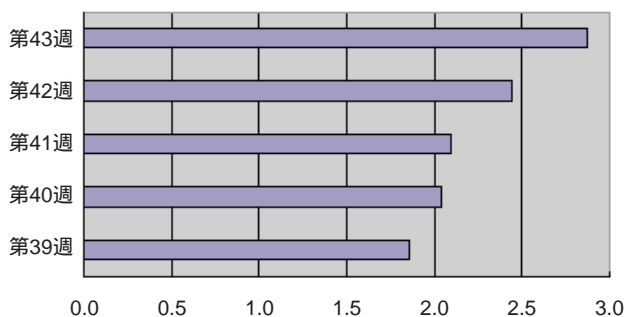
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



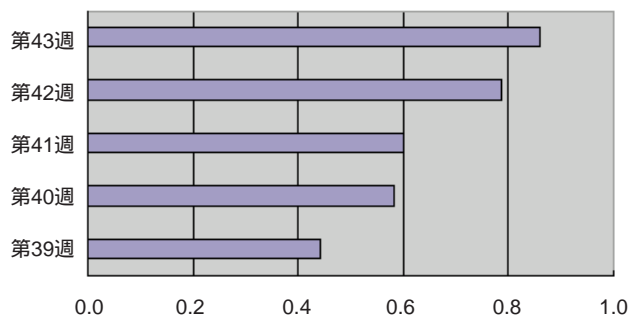
流行性耳下腺炎



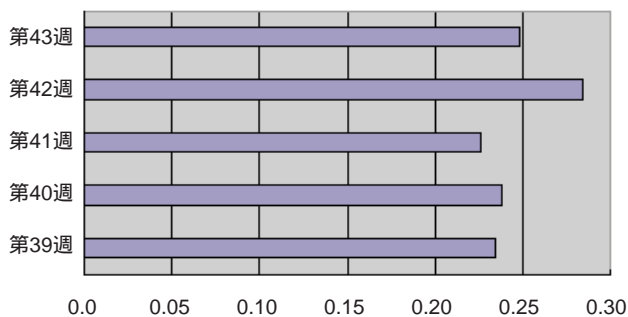
感染性胃腸炎



水痘



マイコプラズマ肺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



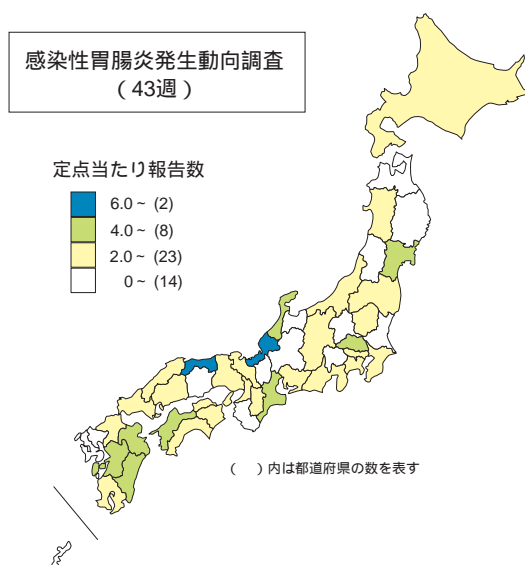
# 注目すべき感染症

## 感染性胃腸炎流行状況

感染性胃腸炎のサーベイランスはいわゆる症候群サーベイランスであり、嘔吐・下痢を主症状とし、原因は種々の感染性病原体による。原因はウイルス感染( ロタウイルス、SRSV : Small Round Structured Virusなど )が圧倒的に多く、サーベイランスによって得られる流行曲線はこの2種のウイルスによる感染性胃腸炎の動向を反映し、毎年秋から冬にかけて流行が見られる。旧サーベイランス( 1999年3月以前 )では乳幼児、特に6カ月から18カ月くらいの月齢のものが罹患するロタウイルスによるものを「乳児嘔吐下痢症」の疾患名を挙げて調査を行っていたが、このなかには、SRSV( ノーウォーク様ウイルス; NLV、サッポロ様ウイルス; SLV )によるものも多数報告されており、また、感染性胃腸炎の報告の中にもロタウイルスによるものが含まれていたため、臨床症状では分けられないという事実から、新サーベイランスではこれらを「感染性胃腸炎」に一括して調査対象としている。

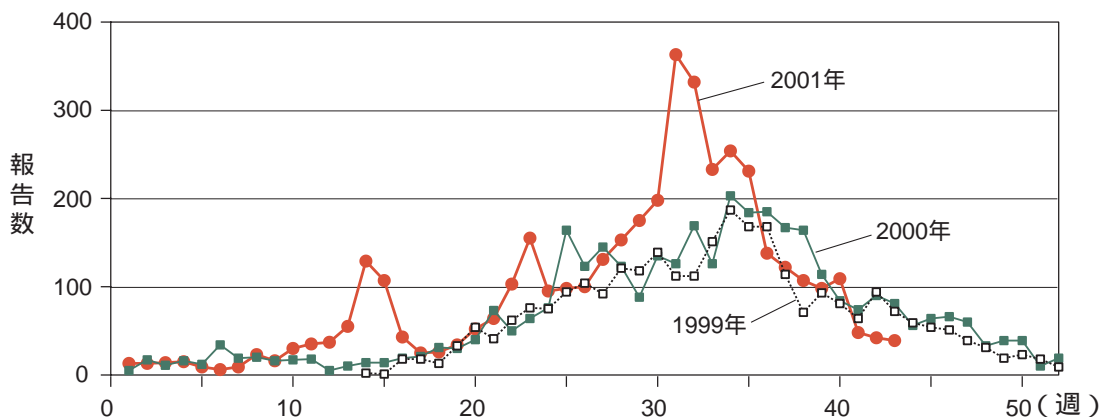
例年10月ごろから報告が増加しはじめ12月頃に一度ピークができた後、春にもう一つなだらかな山ができ、夏季に向かって減少する。ウイルス性、特にSRSVによる流行が12月のピークを形成し、その後春のピークはロタウイルスによって形成され、腸炎ピブリオなど細菌性のものやいわゆる食中毒によるものが夏期の原因になっている。

今シーズンの感染性胃腸炎は第39週より患者報告数が徐々に増加し始め、第43週の全国定点からの報告総数は8,651、平均の定点当たり報告数は2.87となっている。報告が多くなっている都道府県は鳥取県( 定点当たり報告数6.8 ) 福井県( 6.6 ) 愛媛県( 5.8 ) 宮崎県( 5.6 ) 三重県( 5.5 ) などである( ウイルスの検出情報については5ページ参照 )。



## 腸管出血性大腸菌感染症流行状況

腸管出血性大腸菌感染症( 無症状保菌者含む ) 発生状況





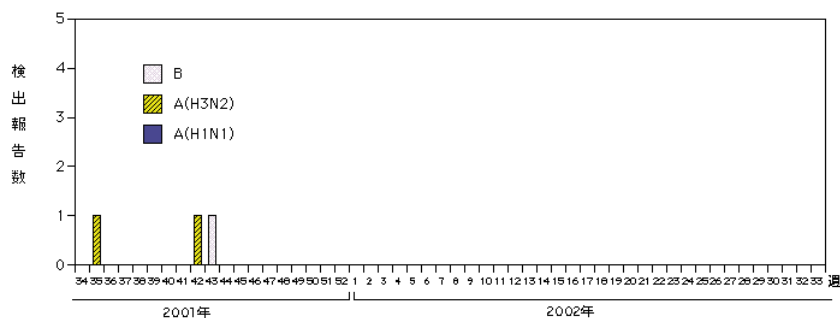
# 病原体情報

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
( 2001年11月2日現在報告分 )

## インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズン初めての分離として、第35週( 8月29日検体採取 )に沖縄県からインフルエンザA/香港型ウイルス( H3 )が1件報告され、第39週( 9月26日検体採取 )には名古屋市からB型が1件報告された。その後第42週( 10月19日検体採取 )には再び沖縄県からA/香港型ウイルス( H3 )が1件報告された。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン  
(病原微生物検出情報：2001年11月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



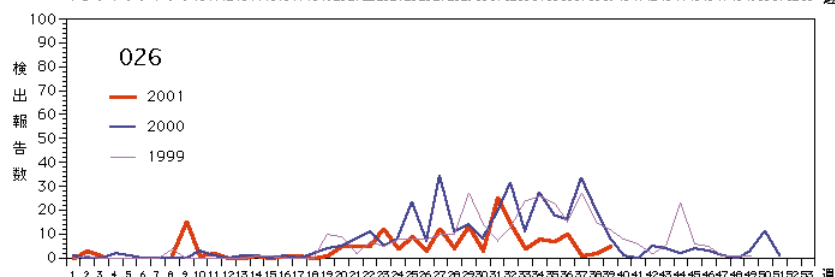
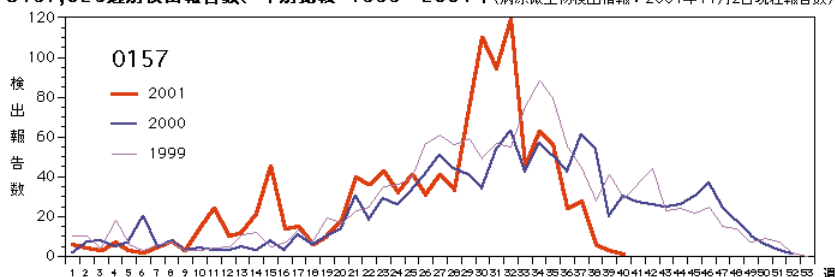
## 感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンに入って初めてのSRSV検出として、第41～43週( 10月11～22日検体採取 )に、大阪市からノーウォーク様ウイルス( NLV )genogroup が12件報告された。うち5件が保育園での集団発生からの検出である。

## ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が1,150件、O26が179件である。第30～32週をピークに報告が減少しているが、O157の検出が第38週以降特に少なく、第39週は3件、第40週は1件( 京都市 )である。

O157, O26週別検出報告数、年別比較 1999～2001年(病原微生物検出情報：2001年11月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





## 2001/02シーズン直前におけるB型インフルエンザウイルスの分離例 - 名古屋市

名古屋市において、2001/02シーズン直前の2001年9月26日採取の検体から、B型インフルエンザウイルスを分離したので報告する。

患者は、守山区在住の4歳1カ月女児。9月25日夜より、高熱、咳嗽、咽頭痛が出現し、9月26日、東市民病院小児科を受診した。受診時の体温は40℃、咽頭発赤を認めたが、他の理学的所見に異常はなかった。気管支炎と診断され、入院となった。WBC 5,900/μL、PLT 20.2万/μL、GOT 39 IU/L、GPT 18 IU/L、LDH 517 IU/L、CRP1.6 mg/dL。咽頭細菌培養は陰性であった。

咽頭ぬぐい液からMDCK細胞培養初代でインフルエンザウイルスが分離された。モルモット血球に対するHA価は128であった。国立感染症研究所から分与された2000/01シーズンのフェレット感染抗血清、B/Yamanashi( 山梨 )166/98に対して、HI価20( ± ) ( ホモ価1,280 )、ホモ価40のB/Shangdong( 山東 )07/97に対してもHI価10( ± )であった。

患児の経過は、かぜ薬、クラリスロマイシン内服後も高熱が続いたが、全身状態は良好であった。10月1日( 第7病日 )解熱し、10月3日退院した。

9月19日に父親が罹患し、22日に妹が発熱、入院し、25日に本人が発熱、その後、母親も発熱した。家族内流行であると思われたが、他の家族のウイルス学的検索は行っていない。妹は同様の症状であり、2人とも、2000年11～12月に2回ワクチン接種を受けていた。父親は市内に勤務し、出張等はなかった。

名古屋市での2000/01シーズンのインフルエンザは、全国的な傾向と同じく、A/ソ連型、A/香港型、B型が混在する流行形態であった。B型インフルエンザウイルスの分離は、2月14日～4月16日採取の検体から、B/Yamanashi/166/98に対して20～80倍、B/Shangdong/07/97に対して10倍以下を示す株が16株、6月に、B/Shangdong/07/97に対して10～20倍、B/Yamanashi/166/98に対して10倍以下を示す株が4株分離されている。

B/Yamanashi/166/98に反応した16株のうち6株は、国立感染症研究所で解析が行われ、2株はB/Yamanashi/166/98類似株、4株はB/Sichuan( 四川 )379/99類似株であった。

名古屋市衛生研究所微生物部ウイルス室 後藤則子  
名古屋市立東市民病院小児科 神岡直美 加藤敏行

( IASR2001年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### 米国の炭疽 - 更新

CDC/Press Releases, WHO/CSR 2001年11月3日

11月3日までにCDCは、厳密な診断規準に基づいて17名の炭疽確認患者を報告している。内訳は、フロリダ州で2名、ニューヨーク市で5名、ニュージャージー州で5名、ワシントンD.C.で5名である。CDCは、また5名の炭疽疑い患者( ニューヨーク市で3名、ニュージャージー州で2名 )を報告している。現在までに4人が肺炭疽で死亡している。

最新の情報は以下のウェブサイトを参照されたい。

<http://www.bt.cdc.gov/>または<http://www.cdc.gov/od/oc/media/>

CDCは炭疽患者および疑い患者を次のように定義している。

炭疽患者は、1) 臨床的に皮膚炭疽、肺炭疽、腸炭疽の症状に一致し、感染部位や組織から炭疽菌が分離されたもの。または、2) 少なくとも2つ以上の検査の陽性結果に基づく炭疽菌感染の証拠があること。

炭疽疑い患者は、1) 炭疽菌は分離されていないが症状は炭疽に一致し、他の感染症の除外ができ、1つの検査で炭疽菌感染の証拠があること。または2) 炭疽菌感染を確認する検査結果がないものの疫学的に炭疽菌曝露との関連がみられ、症状は炭疽に一致しているもの。



# 感染症の話

## 髄膜炎菌性髄膜炎

化膿性髄膜炎のなかで髄膜炎菌を起炎菌とする疾患を髄膜炎菌性髄膜炎という。髄膜炎を起こす病原性細菌はいくつか知られているが、大規模な流行性の髄膜炎の起炎菌は髄膜炎菌のみであることから、流行性髄膜炎ともよばれる。

### 疫学

日本においては第二次世界大戦前後が症例数のピークで、1960年代前半からは激減しており、近年では極めて稀な疾患となっている( 図1 )。1986~1994年の間での小児性化膿性髄膜炎184例のうち、髄膜炎菌によるものはわずか1例( 0.5% )と報告されており、日本では特にBおよびY群が起炎菌であることが多い。

しかし、海外においては特に髄膜炎ベルト( meningitis belt )とよばれる、アフリカ中央部においてその罹患率が高く、また先進国においても局地的な小流行が見られている。

アフリカではA群が起炎菌であることが圧倒的に多く、8~12年周期で地域流行を起こしており、またアジア( ベトナム、ネパール、モンゴル )、ブラジルでも流行を起こしている。B群は欧州に最も広く認められ、C群は米国、欧州に多く見られる。近年では1998年イングランドでC群による流行性髄膜炎が発生し、1,500人以上が発症し、150人が死亡したと報告されている。世界全体としては毎年300,000人の患者の発生に対し、30,000人の死亡例が出ている。最近ではメッカへの巡礼者を介したW-135群の感染例があり、2001年6月の時点でのWHOへの報告では地元サウジアラビアの109人、英国及びアイルランドの41人を筆頭に世界中から報告されている。

一般的に患者としては生後6カ月から2年の幼児及び青年が多い。

髄膜炎菌は患者のみならず、健康者においても5~20%の保菌率を示す。保菌者が何故無症状のままであるのかについては気候や空気汚染等の環境条件や栄養条件、宿主側の免疫力の相違などが原因因子の一部として考えられているが、現在のところ明確な見解はない。

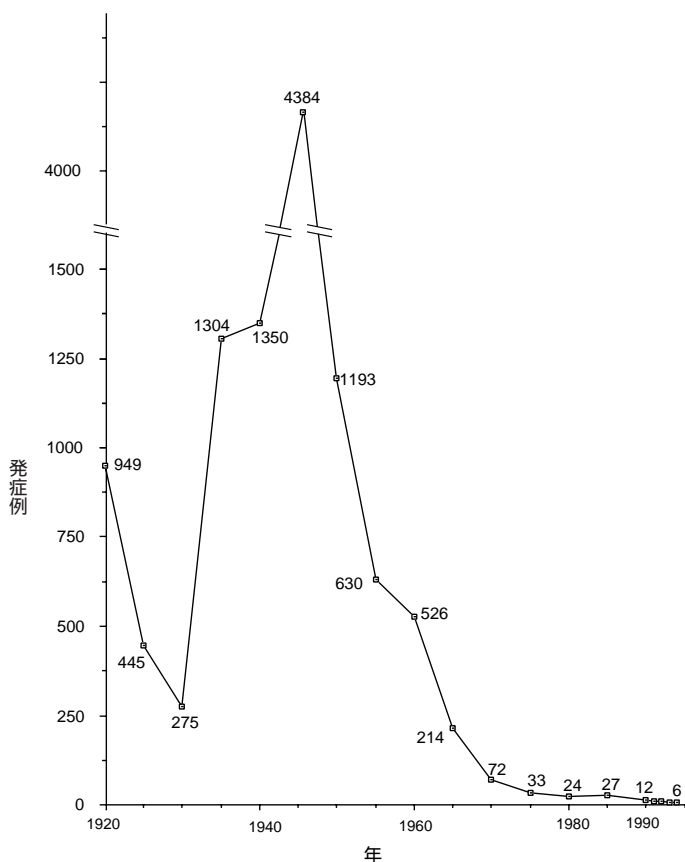


図1. 日本における髄膜炎菌性髄膜炎の発症例の推移



### 病原体

髄膜炎菌( *Neisseria meningitidis* ) は1887年にWeichselbaumによって急性髄膜炎を発症した患者の髄液から初めて分離された。大きさは0.6 ~ 0.8  $\mu\text{m}$ 、グラム陰性の双球菌( 図2 )で、非運動性である。患者のみならず、健常者の鼻咽頭からも分離される。人以外からは分離されず、自然界の条件では生存不可能である。

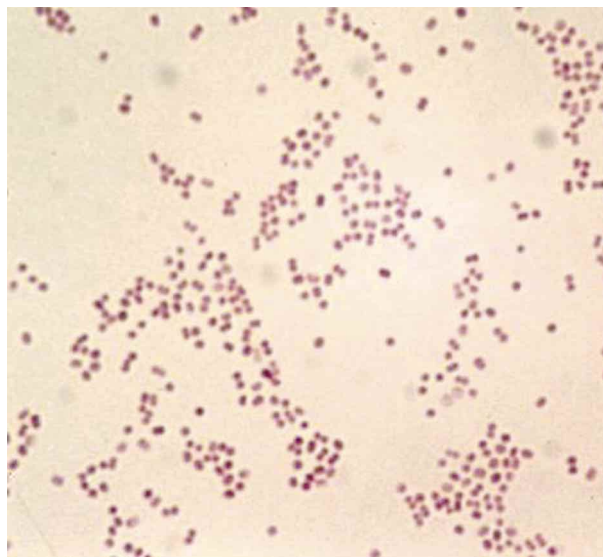


図2. 髄膜炎菌のグラム染色像

この菌はくしゃみなどによる飛沫感染により伝播し、気道を介して血中に入り、さらには髄液にまで進入することにより敗血症や髄膜炎を起こす。

髄膜炎菌は荚膜多糖の種類によって少なくとも13種類( A, B, C, D, X, Y, Z, E, W-135, H, I, K, L )のSerogroup( 血清群 )に分類されているが、起炎菌として分離されるものはA, B, C, Y, W-135が多く認められ、A, B, Cが全体の90%以上を占める。

血清群以外ではMLST( Multi Locus Sequence Typing )と呼ばれる、菌の成育に必須の遺伝子( house keeping gene )の塩基配列の多様性を比較、解析することにより菌を分類する方法が導入され、分子レベルでの分類法が徐々に適応されつつある。

### 臨床症状

気道を介してまず血中に入り、1)菌血症( 敗血症 )を起こし、高熱や皮膚、粘膜における出血斑、関節炎等の症状が現れる。引き続いて2)髄膜炎に発展し、頭痛、吐き気、精神症状、発疹、項部硬直などの主症状を呈する。3)劇症型の場合には、突然発症し、頭痛、高熱、けいれん、意識障害を呈し、DIC( 汎発性血管内凝固症候群 )を伴いショックに陥って死に至る( Waterhouse-Friderichsen症候群 )。

菌血症で症状が回復し、髄膜炎を起こさない場合もあるが、髄膜炎を起こした場合、治療を施さないとその死亡率はほぼ100%に達する。抗菌薬が比較的有効に効力を発揮するので、早期に適切な治療を施せば治癒する。

潜伏期間は3 ~ 4日とされている。

### 病原診断

髄液、血液から分離培養し、グラム染色による検鏡及び生化学的性状により髄膜炎菌であることを確定する。

最近ではラテックス凝集法による診断キットがSlidex( Bio-Merieux )から販売されており、髄液中の細菌抗原の存在の有無によって検出する方法がある。ただし、このキットはA, B, C群の抗原しか検出できないので、その点に留意する必要がある。

血清群別はWellcome社、E.Y Lab社等で販売されている群別用の抗体を用いて凝集反応の有無によって検査を行う。

PCRによる髄膜炎菌の同定はいくつかの論文で報告されているが、標準化するまでには至っていない。

#### 治療・予防

第一選択薬としてpenicillin Gが、第二選択薬としてはchloramphenicolが推奨されている。また一般に髄膜炎の初期治療に用いられるcefotaxime( CTX )、ceftriaxone( CTRX )、cefuroximeは髄膜炎菌にも優れた抗菌力を発揮するので、菌の検査結果を待たずしてCTX、CTRXをpenicillin Gと併用すれば起炎菌に対して広範囲な効果を現し、早期治療の助けとなる。

予防としてはまずワクチンが挙げられる。現在ではA、C単独もしくはその二群及びA、C、Y、W-135の四群混合の精製莢膜多糖体ワクチンが使用されている。しかし、2歳以下の幼児には効果が薄く、さらに大人に対しても効果はあるが、その効果は数年でなくなるとされている。最近ではC群髄膜炎菌の莢膜多糖体を不活化ジフテリアトキシンに結合させた混合ワクチンが開発され、英国では2000年から導入され始めており、その動向が注目されている。B群の精製莢膜多糖体ワクチンは免疫惹起力が非常に弱く、ワクチンとして使用できないため、現在外膜タンパクを用いたワクチンが開発、検討されている。いずれにしても、本邦においては発生率の低さからワクチンは認可されておらず、現在のところアフリカ等の髄膜炎菌性髄膜炎多発地域に行く旅行者でワクチン接種を希望する場合は海外から個人輸入するか、海外で接種する以外に方法がない。

患者と接している人々の感染率は一般の人々に対してかなり高くなるため、ワクチン以外の予防法として抗生物質の予防投与が推奨されており、主にリファンピシンが用いられている。

#### 発生動向調査

1999年4月に施行された感染症新法において4類感染症に分類され、全数把握の対象となっている。髄膜炎菌性髄膜炎による患者を診断した医者は速やかに最寄りの保健所長を通じて都道府県知事に届け出なければならない。

\*なお、2000年4月から厚生労働省研究班が中心となって全国での髄膜炎菌性髄膜炎の国内疫学的調査を開始した。上記のように報告義務が髄膜炎に限定されているため、髄膜炎菌による発症例の全体像が把握しにくい状況であり、可能であれば地方衛生研究所、もしくは国立感染症研究所に症例をご連絡くださるようご協力頂きたい。( 国立感染症研究所細菌部 )

( 国立感染症研究所細菌部 高橋英之 )



## 読者のコーナー

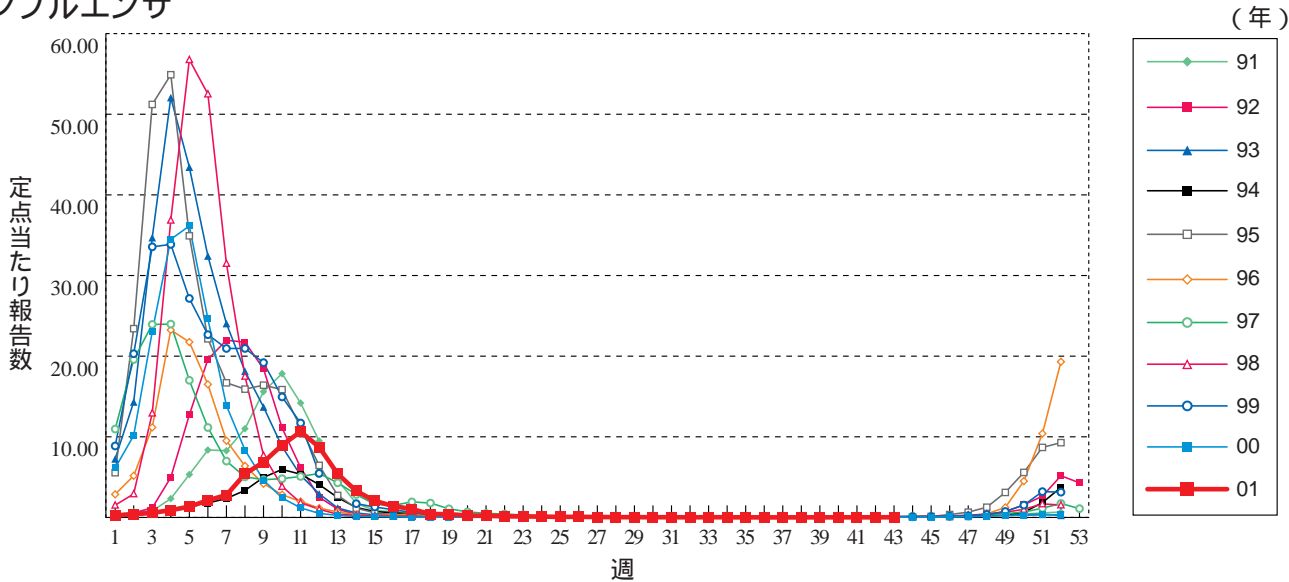
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

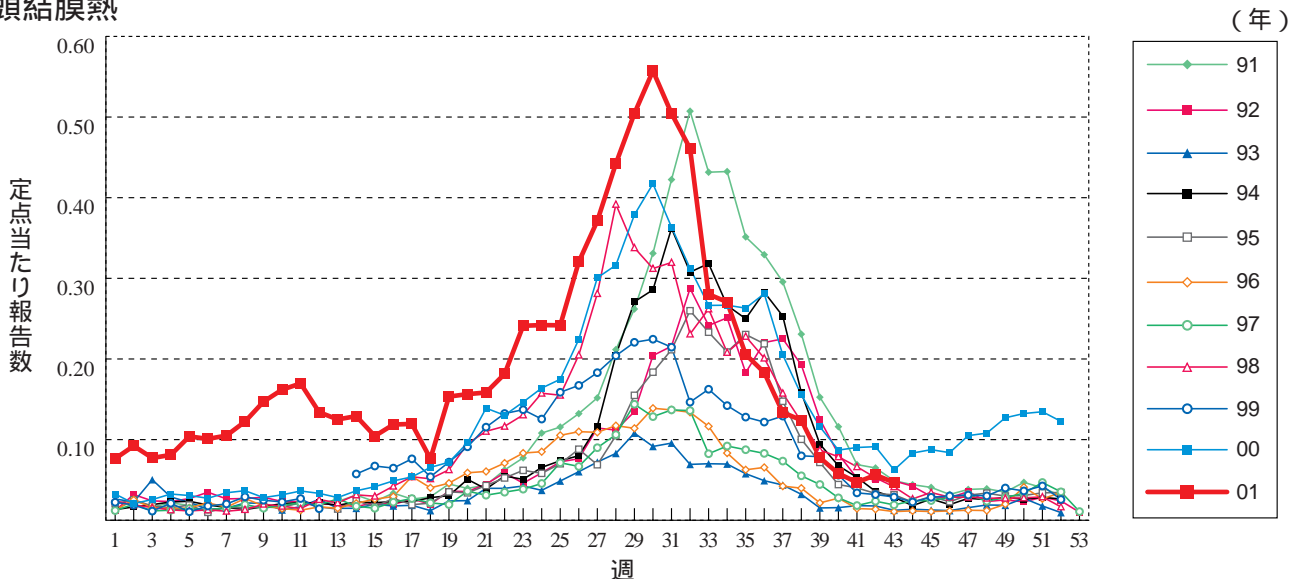


**グラフ総覧( 4 3 週 )**

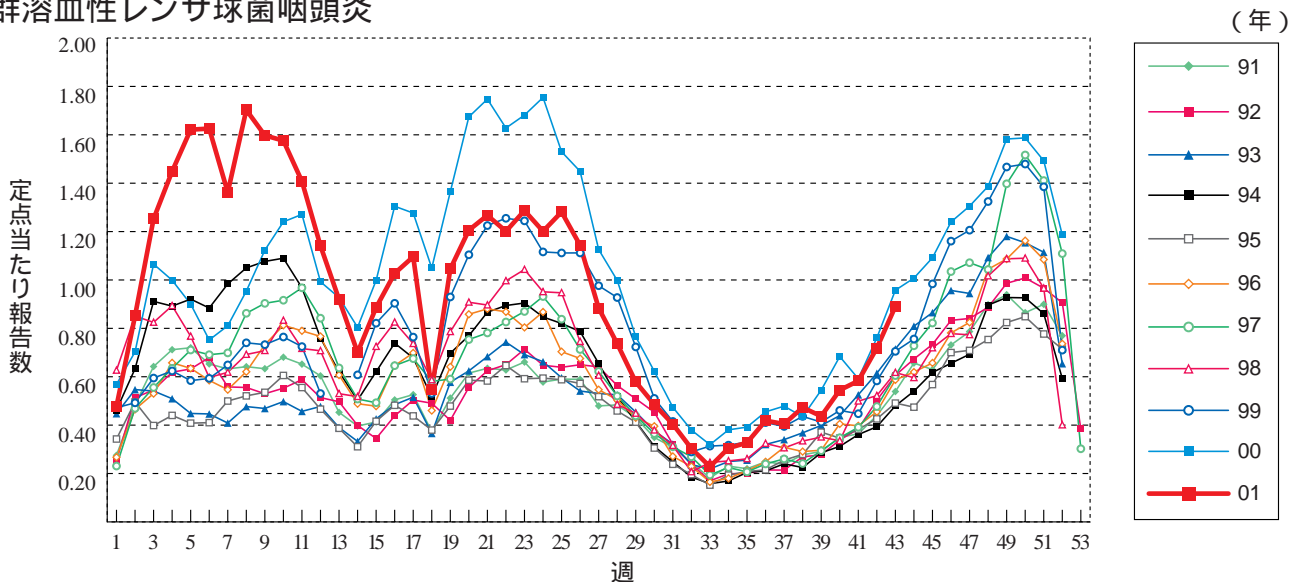
**インフルエンザ**



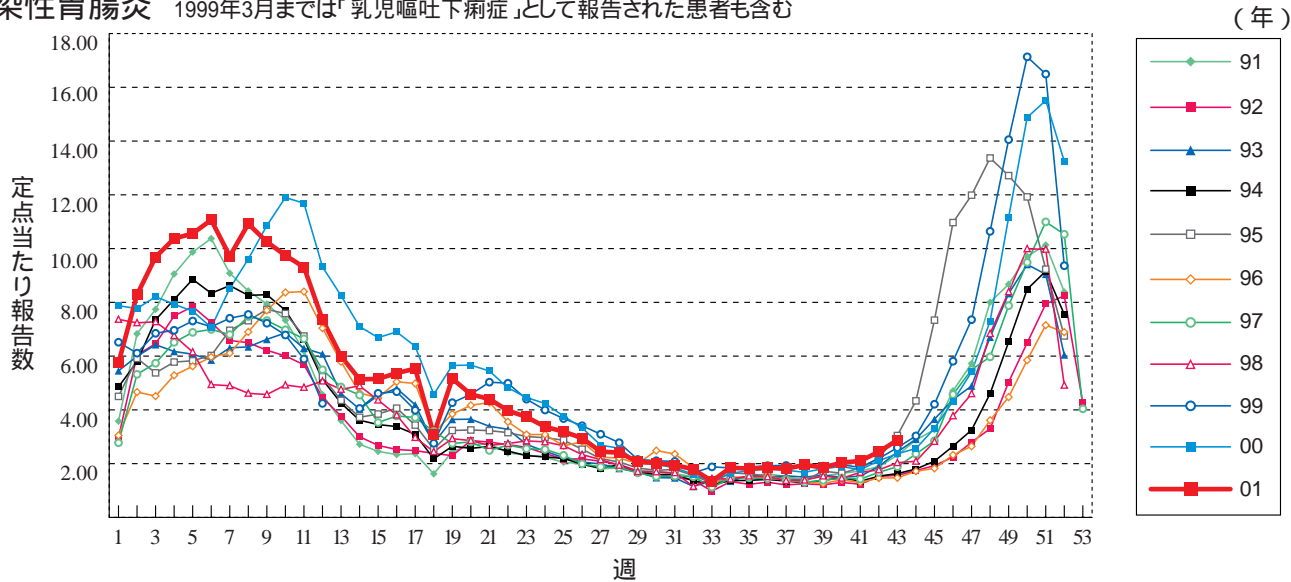
**咽頭結膜熱**



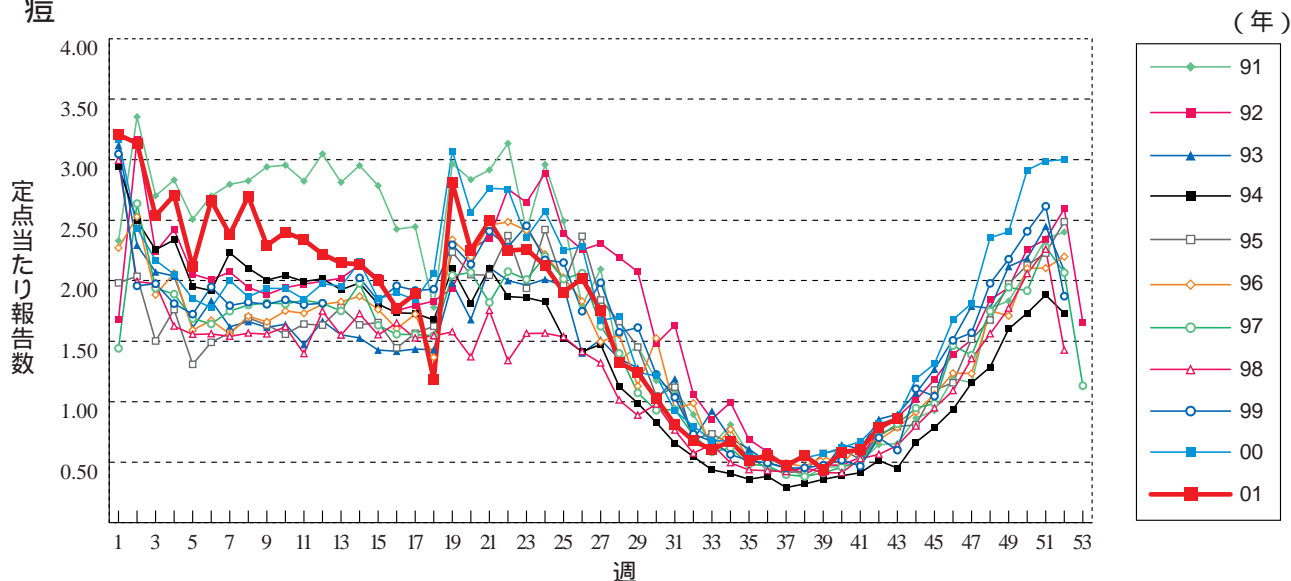
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



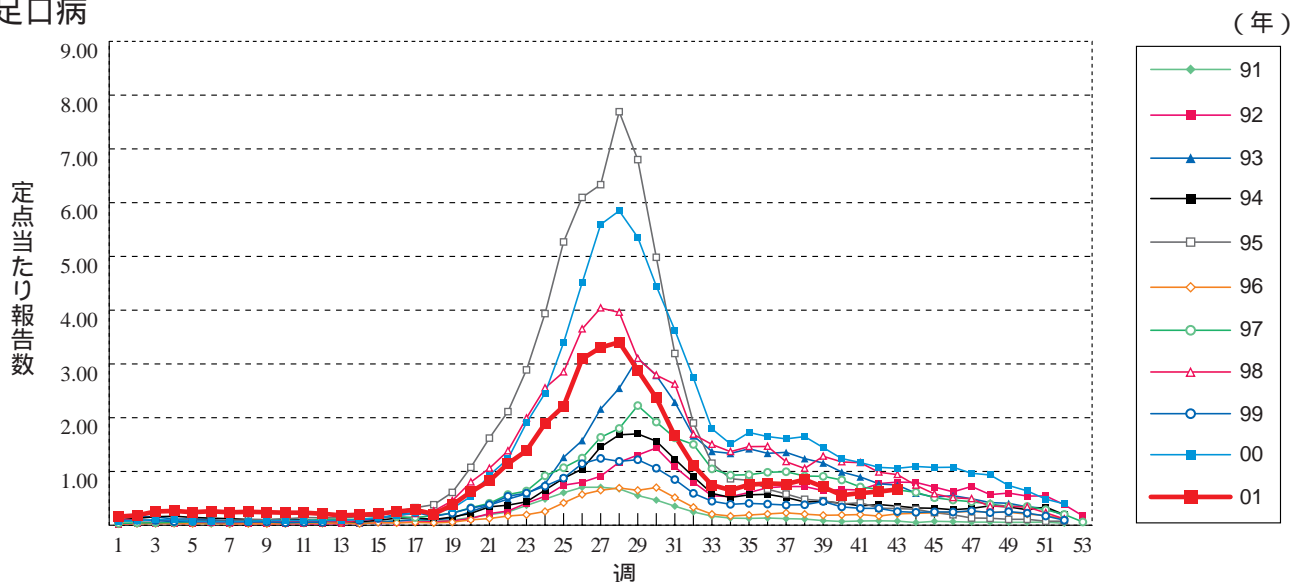
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



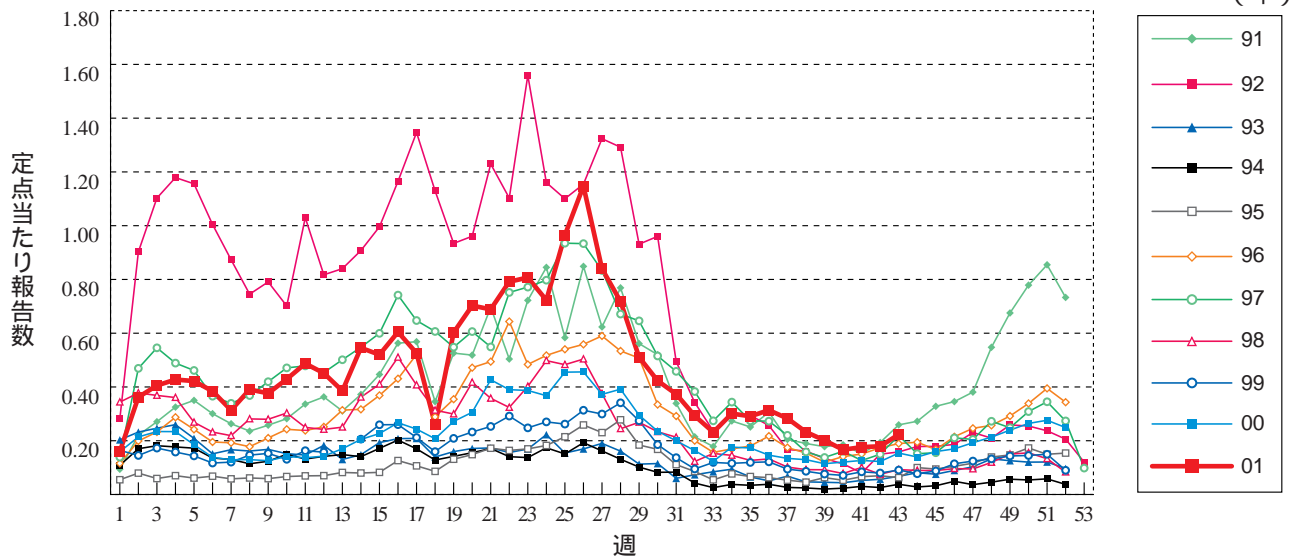
**水痘**



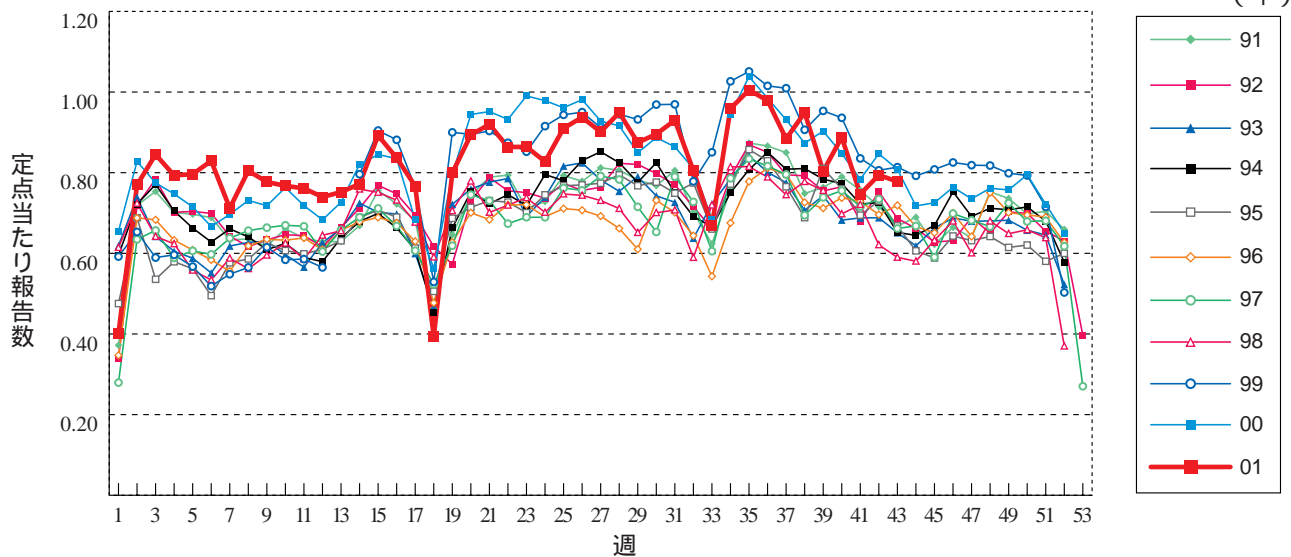
**手足口病**



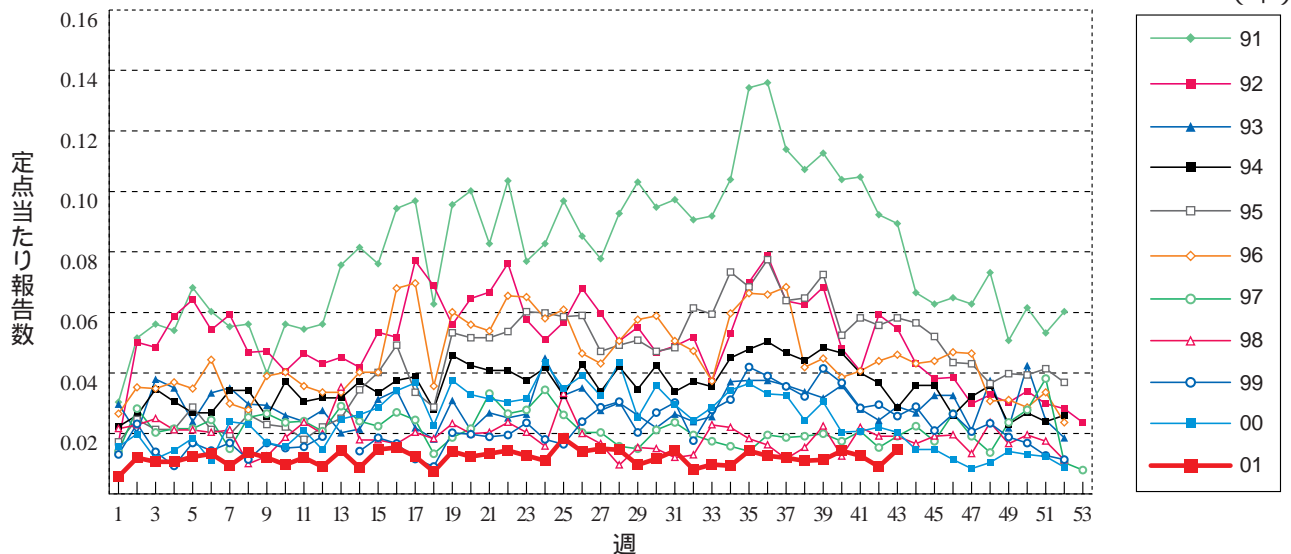
伝染性紅斑



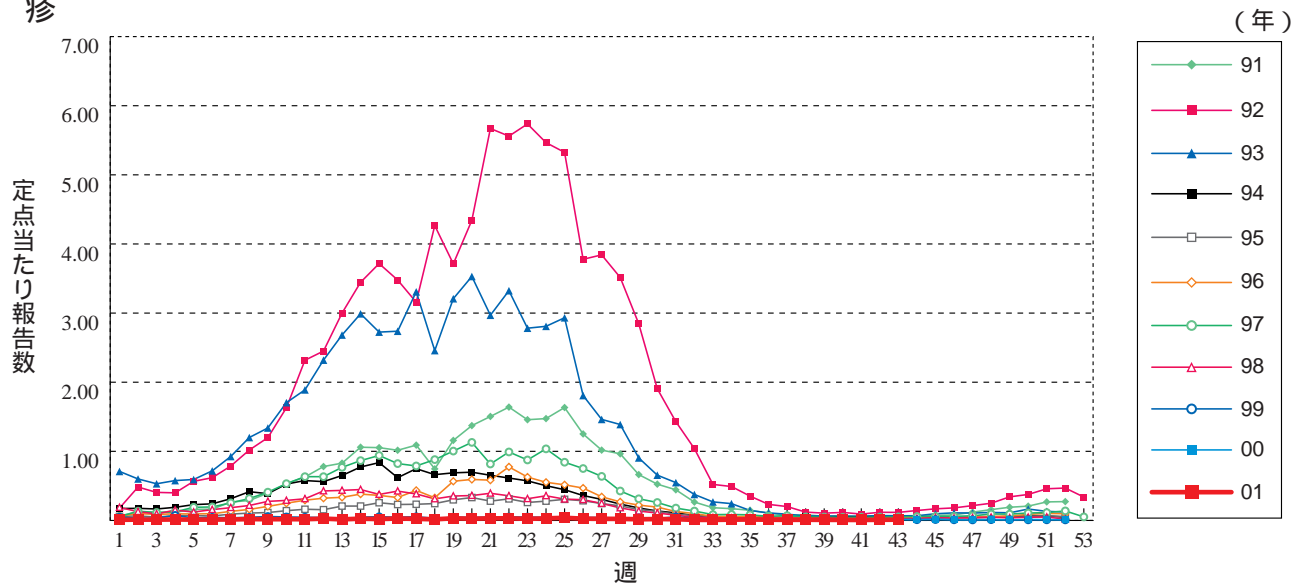
突発性発疹



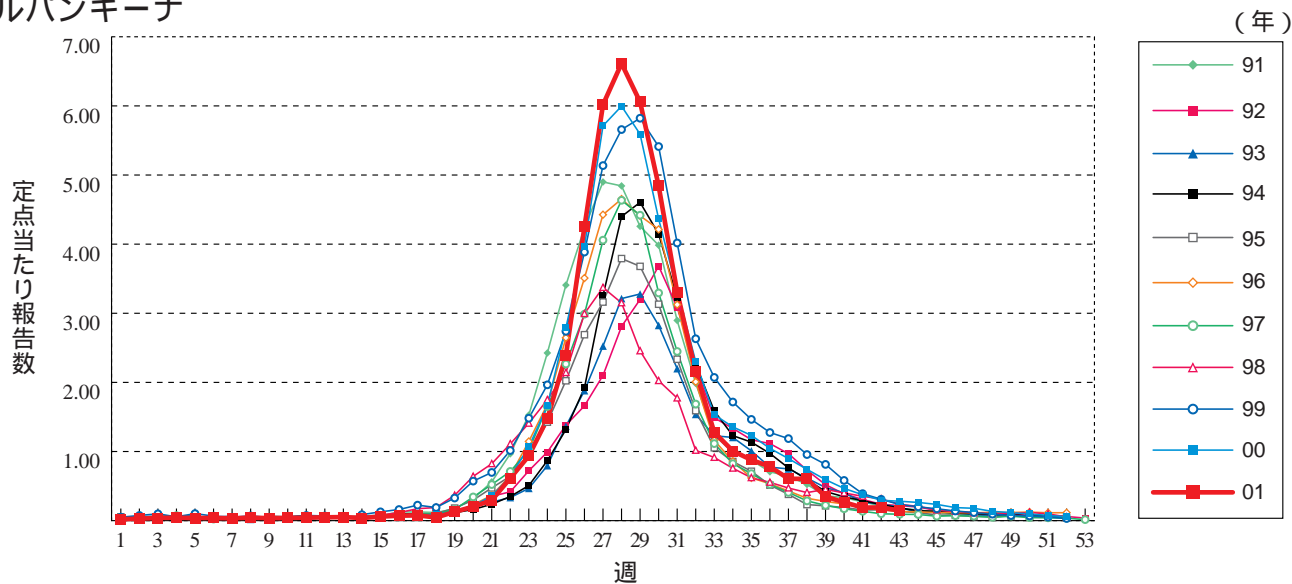
百日咳



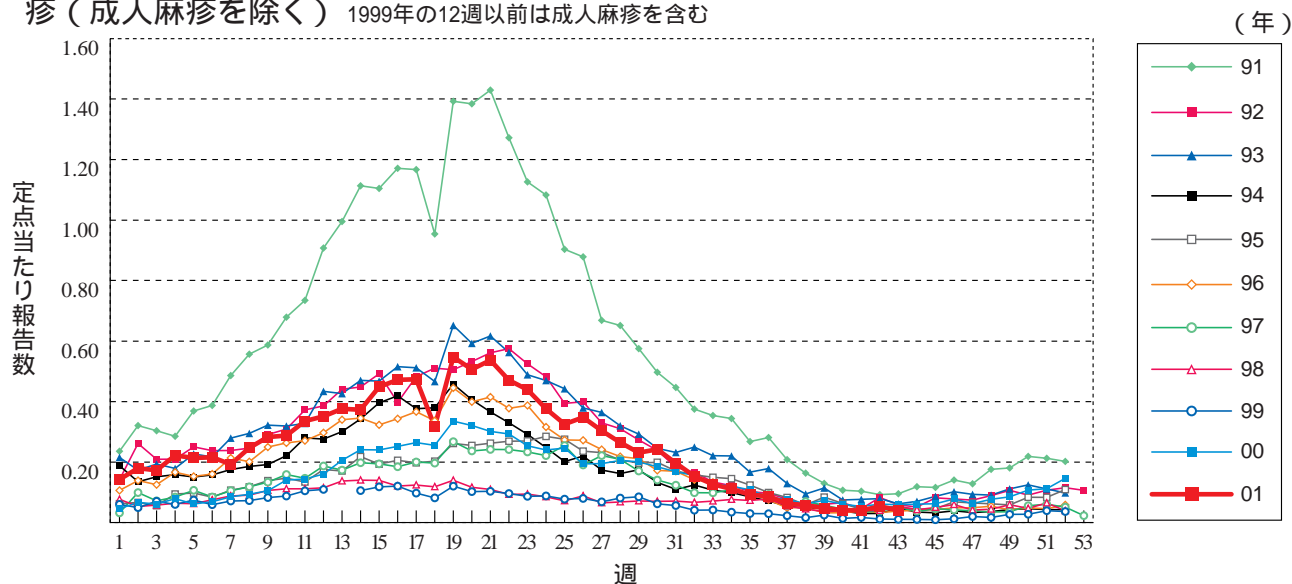
風 疹



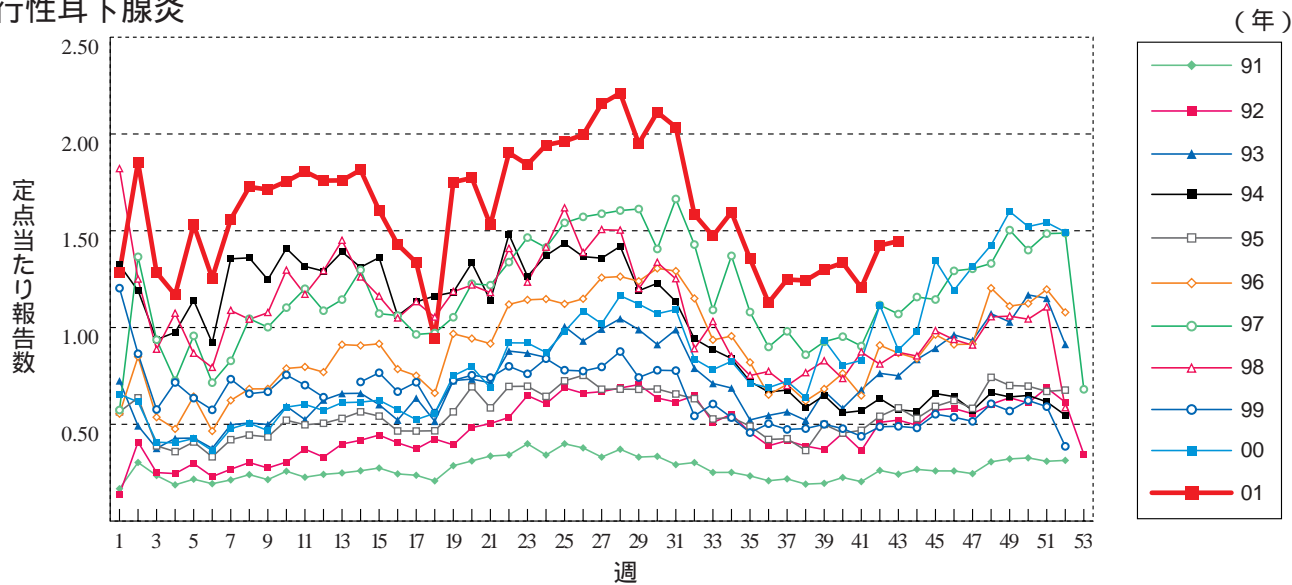
ヘルパンギーナ



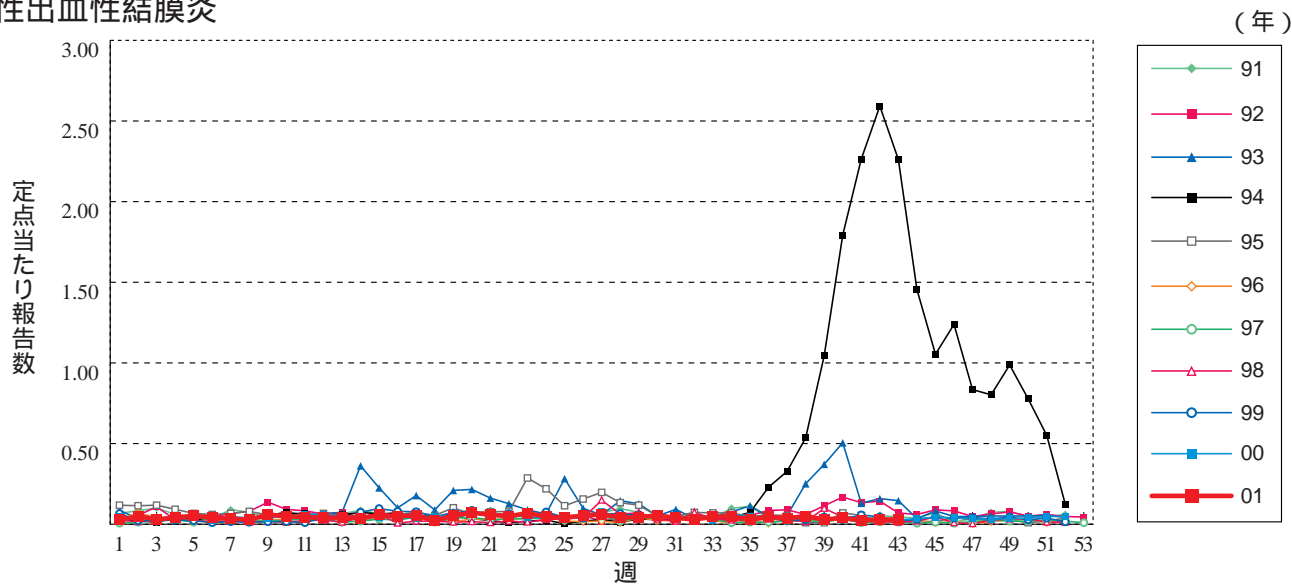
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



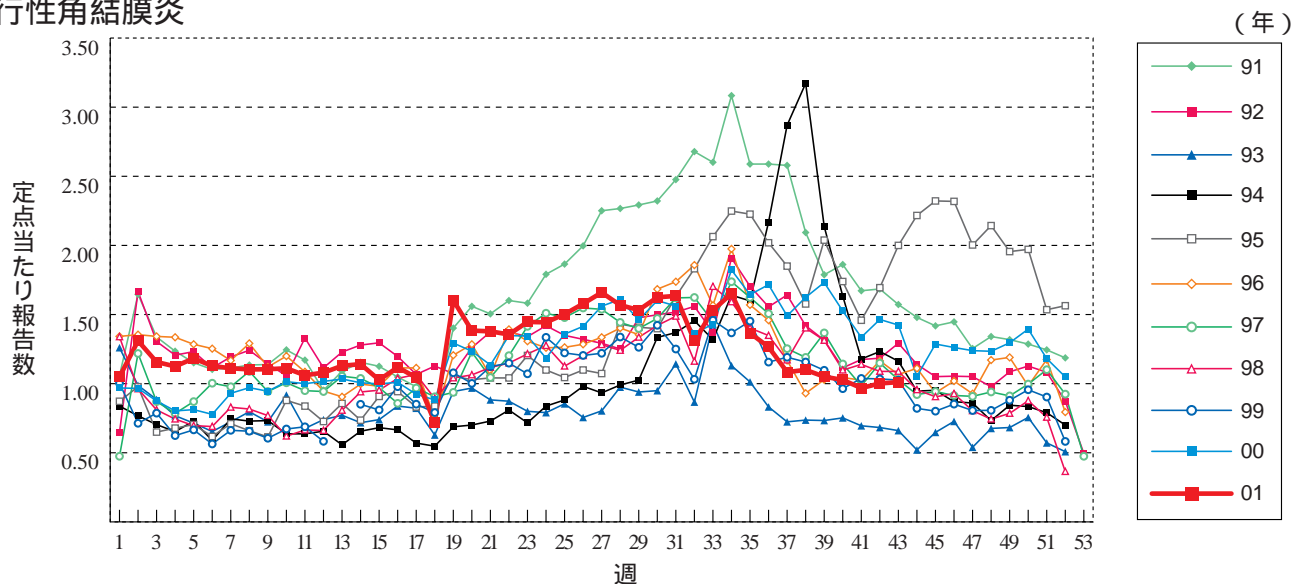
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



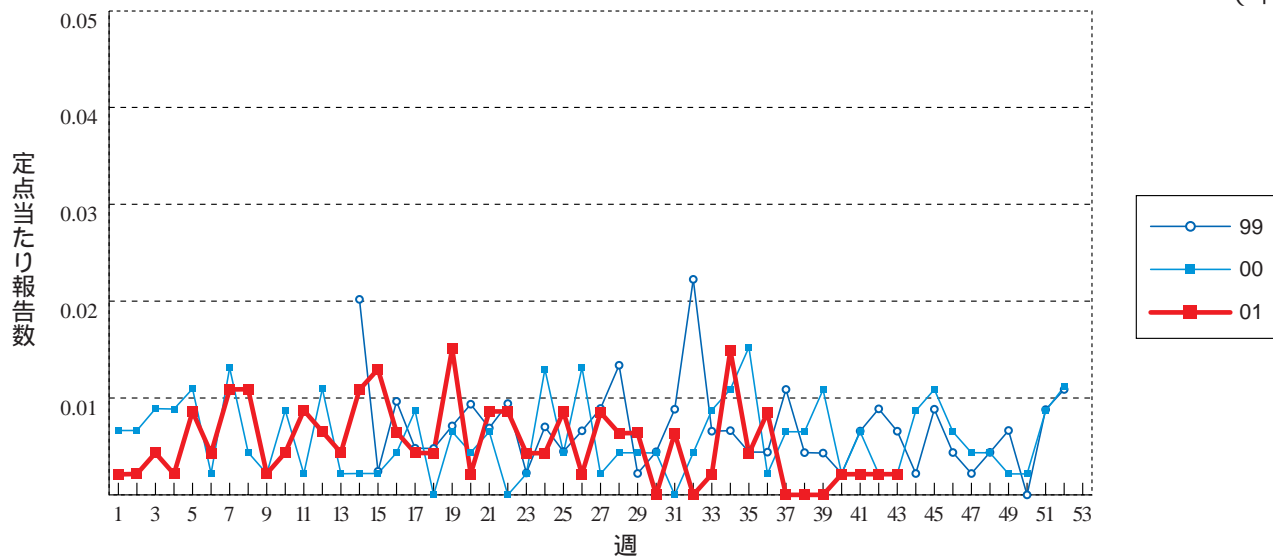
流行性角結膜炎





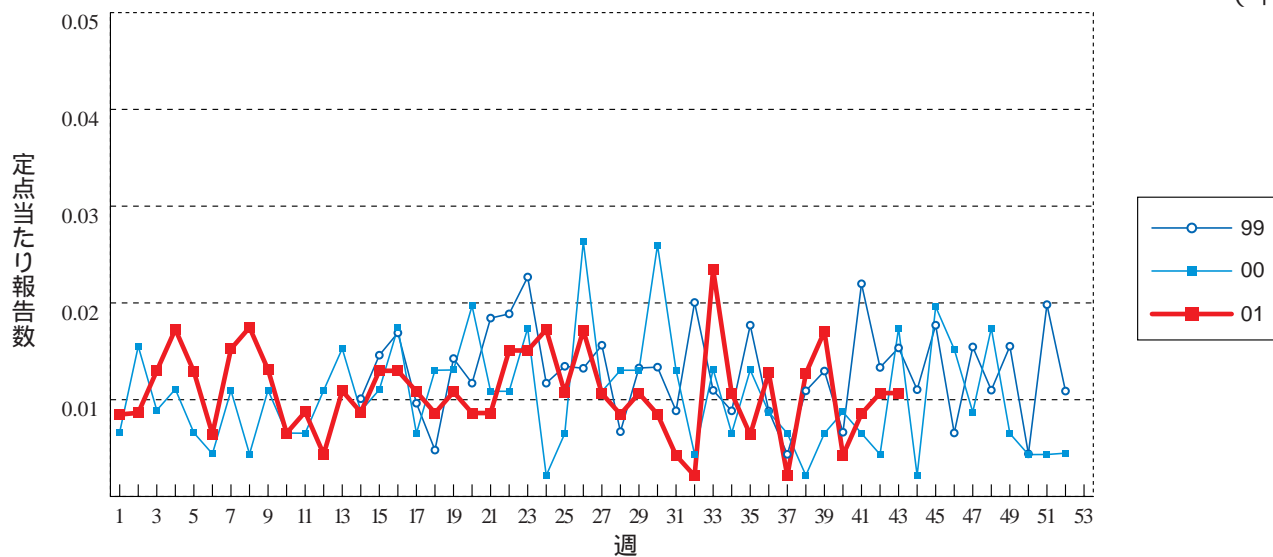
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



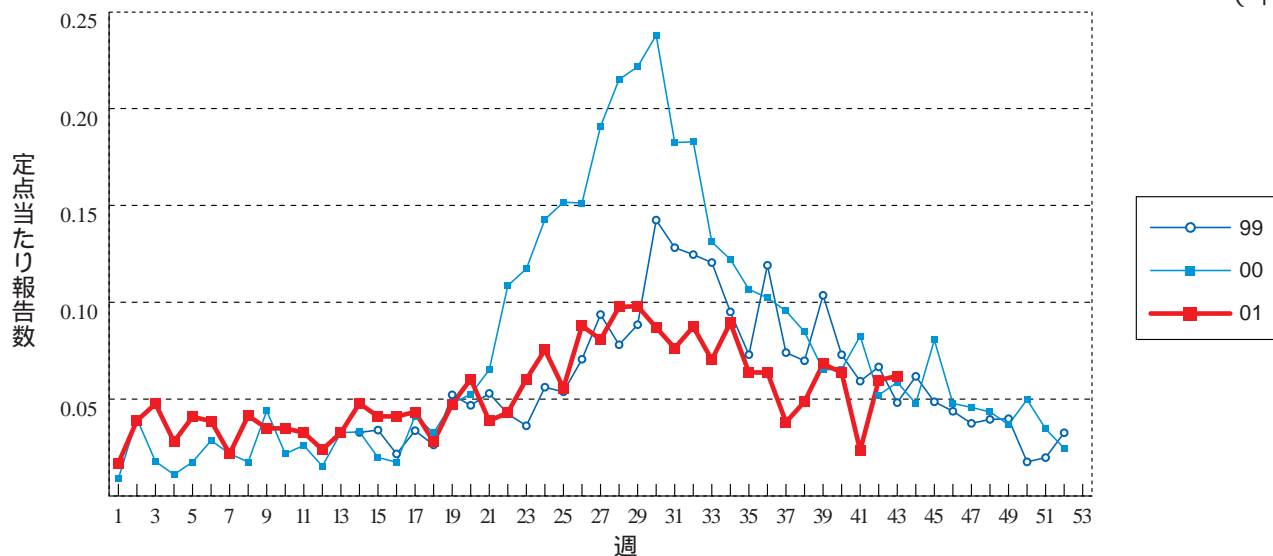
細菌性髄膜炎

(年)



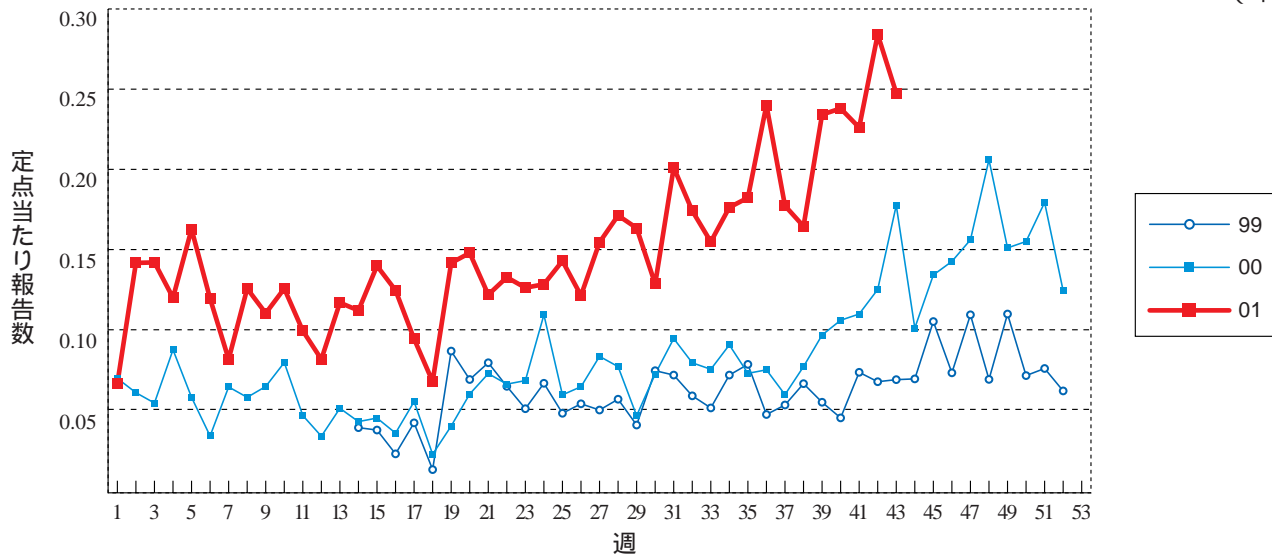
無菌性髄膜炎

(年)



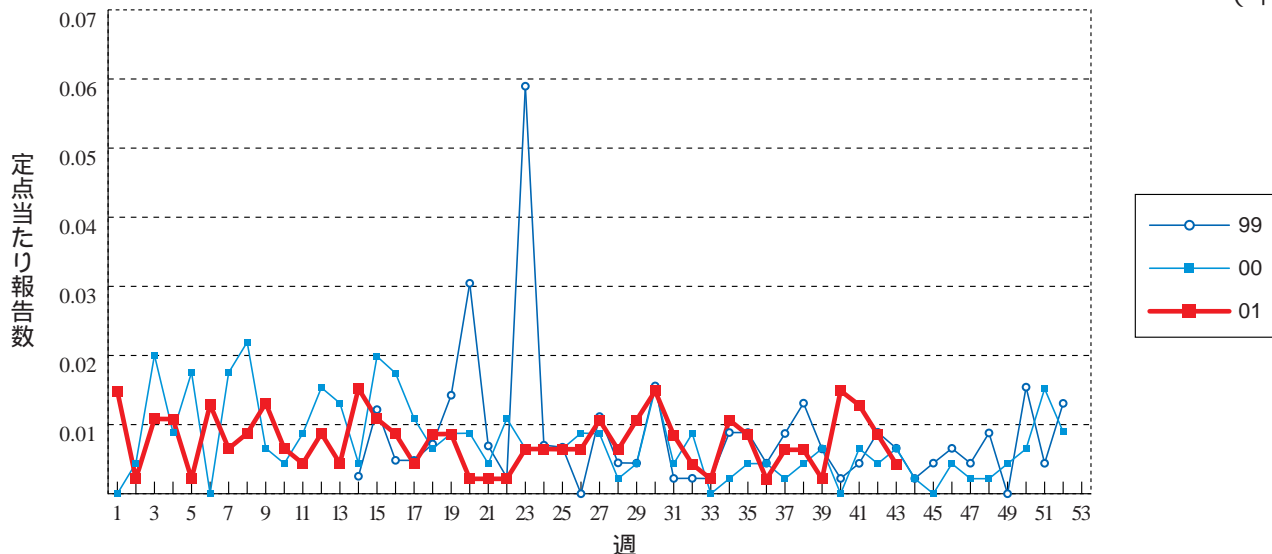
マイコプラズマ肺炎

(年)



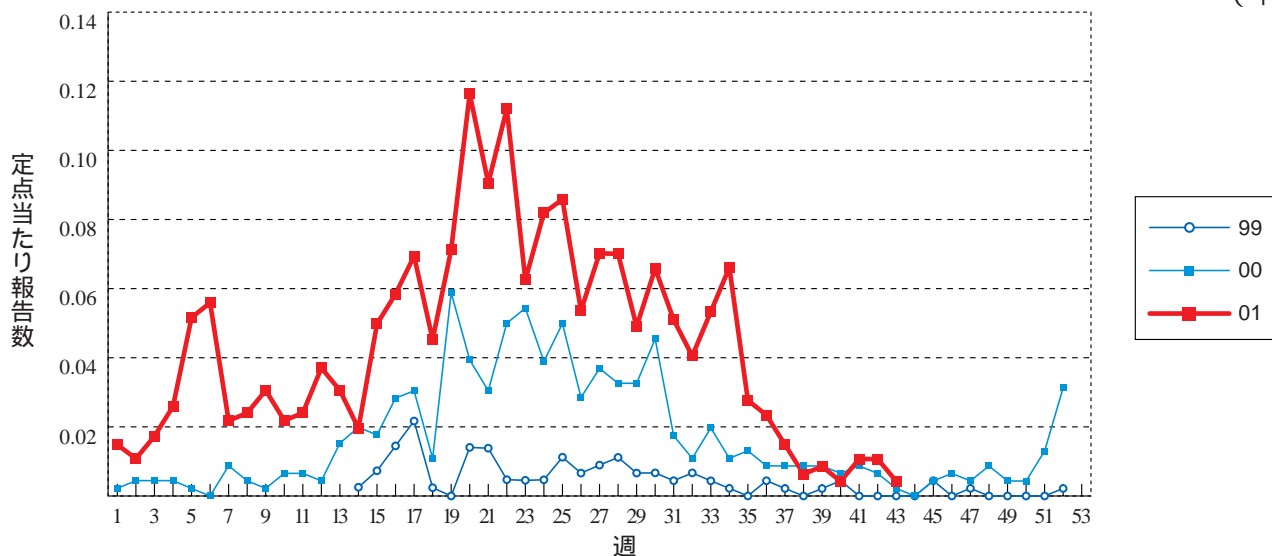
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 43週のデータ

注)表中の報告数は11月2日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年43週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	4	545	1	57	1	18		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	3	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	-	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	33	-	4	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	109	-	15	1	13		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	38	-	3	-	3		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	33	-	5	-	1		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	46	-	7	-	-		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年43週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	37	4067	5	335	-	10	-	-	-	29	-	-	10	778
北海道	-	-	-	-	3	142	-	5	-	9	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	76	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	1	45	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	26
秋田県	-	-	-	-	-	59	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	2	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福島県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	1	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	1	86	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
埼玉県	-	-	-	-	-	212	2	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
千葉県	-	-	-	-	4	361	1	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	-	302	1	90	-	-	-	-	-	7	-	-	3	126
神奈川県	-	-	-	-	3	261	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
新潟県	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	2	87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	2	59	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	59	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
長野県	-	-	-	-	-	58	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
岐阜県	-	-	-	-	-	22	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49
静岡県	-	-	-	-	-	53	-	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	1	166	-	14	-	-	-	-	-	5	-	-	-	17
三重県	-	-	-	-	-	79	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	43	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	92	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	2	330	-	52	-	-	-	-	-	4	-	-	2	84
兵庫県	-	-	-	-	3	255	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	1	71
奈良県	-	-	-	-	-	57	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
和歌山県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	1	94	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	72	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
広島県	-	-	-	-	1	83	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	2	25
山口県	-	-	-	-	-	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	1	50	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	4	138	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
佐賀県	-	-	-	-	-	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1	76	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	-	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮崎県	-	-	-	-	-	35	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
鹿児島県	-	-	-	-	1	45	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
沖縄県	-	-	-	-	2	25	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年43週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	26	-	-	1	7	2	100	-	39	11	757	-	1	-	112	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	22	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	27	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	3	-	55	-	-	-	2	-	-
東京都	-	7	-	-	1	5	-	8	-	4	6	300	-	-	-	52	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	-	71	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	16	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	32	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	13	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	1	71	-	-	-	13	-	-
兵庫県	1	2	-	-	-	-	-	9	-	3	-	18	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年43週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	1	-	-	10	219	-	44	-	31	-	3	-	-	6	454
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	19	-	-	-	-	-	-	-	83
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	-	-	3	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	2	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	94
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	21
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	22
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大分県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年43週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	67	1	37	-	-	-	-	-	-	-	-	93	-	12	3	66	
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2	
東京都	-	3	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	3	-	12	
神奈川県	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
静岡県	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	
兵庫県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	2	3	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	
島根県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年43週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	113	0.02	141	0.05	2681	0.89	8651	2.87	2588	0.86	2004	0.67	672	0.22	2342	0.78	44	0.01
北海道	2	0.01	25	0.17	244	1.68	290	2.00	198	1.37	173	1.19	35	0.24	93	0.64	2	0.01
青森県	2	0.03	-	-	25	0.60	66	1.57	57	1.36	24	0.57	33	0.79	23	0.55	-	-
岩手県	-	-	-	-	30	0.81	57	1.54	76	2.05	34	0.92	8	0.22	17	0.46	-	-
宮城県	2	0.02	5	0.08	76	1.29	237	4.02	52	0.88	67	1.14	20	0.34	56	0.95	-	-
秋田県	-	-	-	-	36	1.03	118	3.37	41	1.17	37	1.06	5	0.14	19	0.54	-	-
山形県	8	0.17	1	0.03	107	3.57	55	1.83	33	1.10	39	1.30	7	0.23	27	0.90	4	0.13
福島県	1	0.01	-	-	22	0.46	124	2.58	66	1.38	81	1.69	19	0.40	33	0.69	-	-
茨城県	2	0.02	-	-	40	0.55	129	1.77	41	0.56	45	0.62	13	0.18	32	0.44	3	0.04
栃木県	-	-	2	0.04	32	0.70	139	3.02	22	0.48	4	0.09	22	0.48	44	0.96	-	-
群馬県	1	0.01	5	0.08	66	1.08	111	1.82	83	1.36	18	0.30	4	0.07	35	0.57	-	-
埼玉県	12	0.05	10	0.06	229	1.45	659	4.17	141	0.89	66	0.42	23	0.15	136	0.86	3	0.02
千葉県	1	0.01	4	0.03	120	0.94	307	2.42	132	1.04	73	0.57	27	0.21	113	0.89	-	-
東京都	1	0.01	13	0.09	49	0.35	367	2.58	53	0.37	32	0.23	22	0.15	76	0.54	3	0.02
神奈川県	-	-	6	0.03	152	0.74	580	2.82	112	0.54	165	0.80	29	0.14	168	0.82	1	0.00
新潟県	-	-	10	0.17	67	1.14	169	2.86	63	1.07	86	1.46	2	0.03	50	0.85	1	0.02
富山県	-	-	-	-	48	1.66	47	1.62	32	1.10	28	0.97	11	0.38	26	0.90	-	-
石川県	-	-	-	-	10	0.34	124	4.28	28	0.97	49	1.69	8	0.28	27	0.93	1	0.03
福井県	-	-	-	-	20	0.91	144	6.55	30	1.36	23	1.05	7	0.32	12	0.55	-	-
山梨県	9	0.22	-	-	15	0.60	28	1.12	12	0.48	1	0.04	7	0.28	6	0.24	-	-
長野県	7	0.08	1	0.02	88	1.63	151	2.80	78	1.44	73	1.35	11	0.20	42	0.78	-	-
岐阜県	2	0.03	-	-	41	0.87	85	1.81	34	0.72	34	0.72	20	0.43	31	0.66	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	69	0.80	254	2.95	73	0.85	74	0.86	13	0.15	71	0.83	-	-
愛知県	13	0.07	10	0.05	158	0.87	378	2.08	90	0.49	195	1.07	38	0.21	145	0.80	2	0.01
三重県	-	-	3	0.08	29	0.73	221	5.53	52	1.30	20	0.50	34	0.85	56	1.40	-	-
滋賀県	-	-	-	-	14	0.44	49	1.53	25	0.78	14	0.44	7	0.22	16	0.50	-	-
京都府	4	0.03	1	0.01	40	0.53	296	3.89	54	0.71	64	0.84	29	0.38	42	0.55	-	-
大阪府	7	0.02	7	0.04	108	0.57	509	2.69	132	0.70	33	0.17	21	0.11	120	0.63	6	0.03
兵庫県	-	-	4	0.03	78	0.61	478	3.73	113	0.88	11	0.09	21	0.16	151	1.18	4	0.03
奈良県	-	-	-	-	9	0.26	84	2.40	28	0.80	27	0.77	7	0.20	14	0.40	-	-
和歌山県	-	-	-	-	18	0.58	42	1.35	33	1.06	12	0.39	2	0.06	19	0.61	-	-
鳥取県	-	-	-	-	47	2.47	129	6.79	19	1.00	30	1.58	7	0.37	26	1.37	-	-
島根県	-	-	2	0.09	6	0.26	48	2.09	21	0.91	17	0.74	4	0.17	16	0.70	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	29	0.54	87	1.61	38	0.70	64	1.19	5	0.09	26	0.48	-	-
広島県	-	-	8	0.11	64	0.85	183	2.44	57	0.76	76	1.01	14	0.19	55	0.73	3	0.04
山口県	-	-	2	0.04	78	1.59	162	3.31	42	0.86	6	0.12	21	0.43	62	1.27	-	-
徳島県	-	-	-	-	11	0.48	54	2.35	23	1.00	29	1.26	4	0.17	18	0.78	2	0.09
香川県	1	0.02	1	0.03	15	0.47	77	2.41	19	0.59	66	2.06	11	0.34	28	0.88	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	40	1.03	227	5.82	16	0.41	17	0.44	14	0.36	43	1.10	1	0.03
高知県	-	-	-	-	37	1.19	78	2.52	24	0.77	3	0.10	6	0.19	21	0.68	-	-
福岡県	5	0.03	3	0.03	100	0.95	387	3.69	94	0.90	2	0.02	30	0.29	91	0.87	7	0.07
佐賀県	-	-	-	-	19	0.83	45	1.96	30	1.30	-	-	3	0.13	39	1.70	-	-
長崎県	-	-	-	-	22	0.46	78	1.63	32	0.67	27	0.56	10	0.21	23	0.48	-	-
熊本県	-	-	-	-	49	1.00	215	4.39	52	1.06	31	0.63	12	0.24	60	1.22	1	0.02
大分県	3	0.05	3	0.08	29	0.81	172	4.78	37	1.03	7	0.19	18	0.50	34	0.94	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	66	1.78	206	5.57	38	1.03	8	0.22	4	0.11	48	1.30	-	-
鹿児島県	10	0.10	6	0.10	22	0.37	182	3.03	50	0.83	11	0.18	3	0.05	41	0.68	-	-
沖縄県	20	0.34	1	0.03	7	0.21	23	0.68	12	0.35	8	0.24	1	0.03	11	0.32	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年43週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	33	0.01	438	0.15	122	0.04	4354	1.45	19	0.03	640	1.01	1	0.00	5	0.01	29	0.06
北海道	4	0.03	59	0.41	26	0.18	182	1.26	-	-	25	0.86	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	6	0.14	-	-	62	1.48	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	14	0.38	6	0.16	45	1.22	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	24	0.41	2	0.03	78	1.32	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	4	0.11	-	-	37	1.06	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.13	-	-	72	2.40	-	-	13	1.63	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	4	0.08	2	0.04	119	2.48	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	2	0.03	2	0.03	100	1.37	-	-	26	1.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	1	0.02	73	1.59	-	-	16	1.33	1	0.14	1	0.14	-	-
群馬県	-	-	7	0.11	2	0.03	46	0.75	-	-	26	1.86	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	5	0.03	21	0.13	7	0.04	184	1.16	-	-	26	0.72	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	5	0.04	16	0.13	10	0.08	140	1.10	-	-	24	0.73	-	-	1	0.08	2	0.15
東京都	2	0.01	18	0.13	2	0.01	112	0.79	-	-	16	1.14	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	2	0.01	4	0.02	-	-	186	0.90	9	0.21	45	1.07	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	113	1.92	-	-	7	0.78	-	-	-	-	4	0.31
富山県	-	-	11	0.38	-	-	123	4.24	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	1	0.03	-	-	143	4.93	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	4	0.18	-	-	28	1.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	29	1.16	-	-	-	-	-	-	1	0.10	-	-
長野県	-	-	5	0.09	-	-	184	3.41	-	-	20	2.00	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	85	1.81	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	7	0.08	14	0.16	118	1.37	-	-	16	0.80	-	-	1	0.13	3	0.38
愛知県	-	-	11	0.06	14	0.08	256	1.41	-	-	15	0.43	-	-	-	-	1	0.08
三重県	1	0.03	3	0.08	-	-	50	1.25	-	-	5	0.45	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	4	0.13	-	-	1	0.03	26	0.81	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	1	0.01	4	0.05	1	0.01	107	1.41	1	0.06	13	0.72	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	22	0.12	7	0.04	224	1.19	1	0.02	30	0.59	-	-	-	-	2	0.17
兵庫県	-	-	4	0.03	3	0.02	146	1.14	-	-	34	0.97	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	4	0.11	1	0.03	67	1.91	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	1	0.03	51	1.65	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	10	0.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.17	-	-	8	0.35	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.25
岡山県	-	-	3	0.06	1	0.02	73	1.35	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	4	0.05	-	-	73	0.97	-	-	27	1.35	-	-	-	-	4	0.19
山口県	1	0.02	14	0.29	1	0.02	40	0.82	-	-	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	49	2.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	5	0.16	-	-	38	1.19	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	17	0.44	-	-	92	2.36	-	-	15	2.14	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	8	0.26	-	-	13	0.42	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	1	0.01	22	0.21	4	0.04	172	1.64	2	0.08	36	1.50	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	10	0.43	-	-	81	3.52	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	8	0.17	6	0.13	38	0.79	4	0.40	12	1.20	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	34	0.69	-	-	71	1.45	-	-	27	3.00	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	-	-	15	0.42	-	-	77	2.14	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	9	0.24	-	-	80	2.16	-	-	32	8.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	10	0.17	3	0.05	107	1.78	-	-	16	2.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	5	0.15	146	4.29	-	-	9	0.90	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年43週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	116	0.25	2	0.00	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	12	1.00	1	0.08	-	-
秋田県	13	1.86	-	-	-	-
山形県	8	0.80	-	-	-	-
福島県	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	1	0.14
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	6	0.46	-	-	-	-
東京都	3	0.12	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	3	0.23	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	13	1.63	-	-	-	-
愛知県	7	0.54	-	-	-	-
三重県	1	0.13	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.25	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	1	0.07	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	5	0.63	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	5	0.24	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	2	0.25	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	5	0.83	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第43号 平成13年11月9日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html  
<国立感染症研究所 感染症情報センター>  
http://www.mhlw.go.jp/  
<厚生労働省>  
http://www.forth.go.jp/  
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。